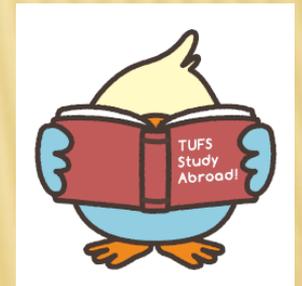


トビタテ！留学JAPAN～第11期～ 書類作成について



2018年12月12日
留学支援共同利用センター



高校生の留学
ドキュメンタリー

動画を見る ▶

ココを
クリック!

期待や不安を胸に、初めての留学に臨むふたりの高校生。
密着取材によるリアルな映像を5分程の映像にしました。

UNIVERSITY STUDENT
大学生の留学

NEWS

<p>【第11期トビタテ生】募集中!</p> <p>トビタテ!留学JAPAN(トビタテ)の第11期トビタテ生(大学生等コース)の募集がスタートしました。トビタテ生は、海外の大学・大学院に留学し、日本の大学・大学院で学び、卒業後、海外で活躍する人材を育成するプログラムです。</p>	<p>2018.12.03</p> <p>【大学生等コース】第11期派遣留学生の募集について～トビタテ!</p>
<p>トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム(大学生等コース)</p> <p>【第11期 募集説明会】</p> <ul style="list-style-type: none">12月5日(水) 東京会場12月7日(金) 大阪会場	<p>2018.11.20</p> <p>【第11期募集説明会(大学生等コース)】トビタテ!留学…</p>

HIGH SCHOOL STUDENT
高校生の留学

NEWS

<p>高校生コース</p> <p>【第5期生】募集受付中!</p>	<p>2018.10.31</p> <p>【高校生コース】第5期派遣留学生の募集について～トビタテ!</p>
<p>セミナー・留学フェアのご案内</p>	<p>2018.11.29</p> <p>【セミナー・留学フェアのご案内】</p>

大学生コース

1010001
11000
10100

理系、複合・融合人材系コース

未来テクノロジー人材枠

UNIVERSITY STUDENT 大学生の留学

NEWS

2018.12.03
【大学生等コース】第11期派遣留学生の募集について～トビタテ～

2018.11.20
【第11期派遣説明会（大学生等コース）】トビタテ！留学～

2018.10.31
【大学生等コース】未来テクノロジー人材へ～トビタテ～

2018.10.31
【大学生等コース】第10期派遣決定について～トビタテ～

もっと見る

大学生の留学事情

大学生の留学事情 →

留学のメリット

学生時代に留学することのメリット・価値とは？ →

大学生の留学準備ガイド

大学生の留学準備ガイド →

大学生のための国際留学ガイド

大学生のための国際留学ガイド →

先達の留学プランを参考に解決策を求めよう

先達の留学計画・お悩み解決法を自習や行先で検索！ →

大学生のための海外大学院進学ガイド

大学生のための海外大学院進学ガイド →

留学を支援する奨学金

日本代表プログラム
大学生等コース

日本代表プログラム
地域人材コース

JASSO
日本学生支援機構
による留学奨学金

その他の奨学金検索

大学生
コース

100
110
100

理系、文系

未来テ

まずはアカウント
を作成！

2回目以降のログイン
はこちらから！

日本代表プログラム 大学生等コース

日本代表プログラム
大学生等コース

留学計画書の
作り方

オンライン申請
初めての方

オンライン申請
ログイン

FAQ

教職員の方

日本代表プログラム 大学生等コースとは

「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。2020年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画です。派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し、「産業界を中心に社会で求められる人材」、「世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材」へと育成されます。帰国後は海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリスト（伝道師）として日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。日本代表プログラム大学生等コースには、以下のコースがあります。

- 大学全国コース
：独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金に据ける家計基準を満たす学生を対象とするもの（指定寄付金対象事業）です。
- 大学オープンコース
：独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金に据ける家計基準を超える学生を対象とするものです。

- > トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム 大学生等コース（全国コース・オープンコース） 募集要項
- > トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム 大学生等コース 説明ムービー（7分弱・YouTubeへ遷移）

募集要項や説明動画
はコチラ！

ココを
クリック！

オンライン申請

トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム



オンライン申請の流れ

STEP1

申請の準備

- 1) トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラムに応募することを在籍大学等の事務局へ申し出ます。
※事務局の連絡先などは在籍学内の情報（学内報や学内サイトなど）を参照ください。
- 2) オンライン申請に必要なキーコードを在籍大学等から受け取り、申請の学内締切日も確認します。
※キーコードがないとオンライン申請はできません。
※学内締切日は、在籍大学等により異なりますので、ご注意ください。
- 3) 事前に、在籍大学等の固有メールやGmailなどのPCメールアドレスを準備します。
※携帯電話・スマートフォンのメールアドレスは利用できません。
※このPCメールアドレスがオンライン申請サイトのユーザー名となります。

STEP2

学生アカウントの登録

- 1) 当ページの「学生アカウント登録ページへ」をクリックしてPCメールアドレスを登録します。
登録したPCメールアドレスへ確認兼アカウント登録ページのURLが記載されたメールが送信されます。
- 2) 受信したメール内のURLから学生アカウント登録ページを開いて必要情報を入力し、アカウント登録を完了します。

STEP3

留学計画等の登録・申請

- 1) オンライン申請サイトへログインして自身の留学計画等を入力します。
入力が完了したら、学内締切日までに申請します。
- 2) 申請した留学計画に加筆・修正が必要と判断された場合、コメント付きで在籍大学等から申請を差し戻される場合があります。
その場合、PCメールアドレスに通知がありますので、留学計画を修正して再申請します。

※申請に関するお問合せは、在籍大学等の事務局へご連絡ください。
※差し戻される可能性がありますので、余裕を持って早めにご申請ください。

[アカウント登録ページへ](#)

アカウント作成
時に入力する
キーコード：

126030

家計基準判定

トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム(大学生等コース) 平成31年度後期【第11期】 募集情報

[地域人材コースはこちら](#)
[高校生コースはこちら](#)

平成31年度募集(大学全国コース・大学オープンコース)

PDF

第11期募集スケジュール

留学開始期間	平成31年8月10日(土)～平成32年3月31日(火)
学生から在籍大学等への応募期間	在籍大学等で設定された期限
在籍大学等から機構への申請期間	平成30年12月3日(月)～平成31年3月1日(金)17時
書面審査(一次審査)	平成31年3月中旬～4月中旬
書面審査結果の通知	平成31年4月下旬
面接審査(二次審査)	平成31年5月18日(土)、19日(日)[東京]
採否結果の通知	平成31年6月中旬
事前研修(2日間) ※1回参加	平成31年8月～12月に留学を開始する派遣留学生 ①平成31年7月29日(月)、30日(火)[関東] ②平成31年7月31日(水)、8月1日(木)[関東] ③平成31年8月3日(土)、4日(日)[関東] ④平成31年8月5日(月)、6日(火)[関東] ⑤平成31年8月8日(木)、9日(金)[関西] 平成32年1月～3月に留学を開始する派遣留学生 ⑥平成31年12月(予定)[関東]

・大学全国コース

[詳細をみる](#)

※大学全国コースは(独)日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たす学生を対象とするものです

・大学オープンコース

[詳細をみる](#)

※大学オープンコースは(独)日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を超える学生を対象とするものです

家計基準を満たすか超えるかは、在籍大学等に問い合わせください

学生

①募集情報

学生

②応募の手引

平成31年度後期(第11期)官民協働海外留学支援制度応募の手引

PDF

学生向けの応募の手引です。

[詳細をみる](#)

書類作成の前に明確にすべきこと

- ・ 将来の目標（夢、目指すもの）は何か？
（なぜ、その目標を持つに至ったのか？）
（現状の社会にどういう問題意識を持っているか？）
- ・ その目標、実現する具体的な方法は？
（具体的にどういう経験、知識が必要か？）
- ・ それを実現するのに留学が必要となる理由は何か？
（留学を通じてどういう経験、知識を得たいのか？）

書類作成上の注意点（基本事項）

- × 説明をしっかりと読み、理解し、指示通りに作成する。
- × 限られた文字数で伝えるべきことを確実に伝える。簡潔で分かりやすい文章を。
 - + 同じことを繰り返し別の表現で言っていないか？
 - + 冗長な文章になっていないか？
 - + 誰が読んでも理解できる文章になっているか？
- × 顔写真添付の際の注意
 - + 元データのファイルサイズが大きい場合は、1MB以下に圧縮／縮小して添付すること。

書類作成上の注意点

- ✖ 詳細まで留学計画を考えた上で記入する。
 - + 留学計画書の内容を変更するには、トビタテ事務局からの承認（再審査）が必要。承認プロセスには時間がかかり、また明確な説明が求められる。
 - ※世界トップレベル大学等コースの場合、当初計画の第2希望、第3希望以外の大学への変更は不可！
 - + 受入機関が未定の場合、行く可能性がある機関はすべて記載すること。
（応募時点では、受入先が未定でも可）
 - + 応募時点で、授業料申請を「無」にした場合、その後は変更不可。（語学の授業は支援対象外）
 - + 留学期間の変更でも、その理由と必然性、いかに留学の「質」を確保するか等説明が必要。

留学計画の目的と概要

- × **目的は明確か？**（世の中にどう関わるか、貢献できるか）
- × **その目的を設定した背景・理由は明確か？**
- × **留学計画および（期待される）成果は具体的か？**
- × **目的と留学のプランの整合性は取れているか？なぜ、その国なのか？**

自由記述書

- × 「なぜ？」にきちんと答えているか？
－ 読み手に疑問を残さない。
- × 熱意・やる気が伝わる文章になっているか？
- × 自己満足な文章になっていないか？
- × 分かりやすくするために図表や写真の活用も！

自由記述書

1. **留学によってどんな自分になりたいのか**
 - ・ スキル、知識
 - ・ ヒューマンスキル（定性面）
2. **困難を克服した経験**
 - ・ どんな困難だったのか？
 - ・ どのように克服したか？（自身の変化を明確に）
 - ・ その経験は今後どのように活かせるか？

※大学受験について書くときは要注意（←困難と呼べるか？）
3. **トビタテ！に対して貢献できると考えること**
 - ・ 留学機運を高めるためにできること等
4. **その他アピールできるポイント**
 - ・ 自分の強み（具体的エピソード）
 - ・ 留学計画実現に向けた取り組み等

外してはいけないポイント！

具体的に書くこと

留学計画の目的、留学中の活動内容、自由記述書の各項目を書く際には、とにかく具体的に書く。

個性を出すこと

自分らしさを感じられる計画になっているか。
だれでも書けるような内容になっていないか。
→ 自分の実体験からストーリーを作る。

社会を意識すること

世の中にどのように貢献できるか（したいか）、影響を与えられるか（与えたいか）、を考えること。

こんな留学計画はダメだ！

× 目的が不明確・不明瞭

『目的は、〇〇大学で〇〇学を学ぶことです。』

→ それで一体どうするの？何がしたいの？将来どうなりたいの？

『日本を外国人にとって働きやすい国にする！』

→ 具体的な課題は何か？働きにくい状況を生み出す原因は何か？

なぜ働きやすい国にしたいのか？その結果、何を実現したいのか？

× 目的が個人的（⇔社会的）

『留学を通じて、〇〇を身につけたい。』

→ 個人的な興味関心は分かったけど、世の中に対してどういう貢献ができるのか？

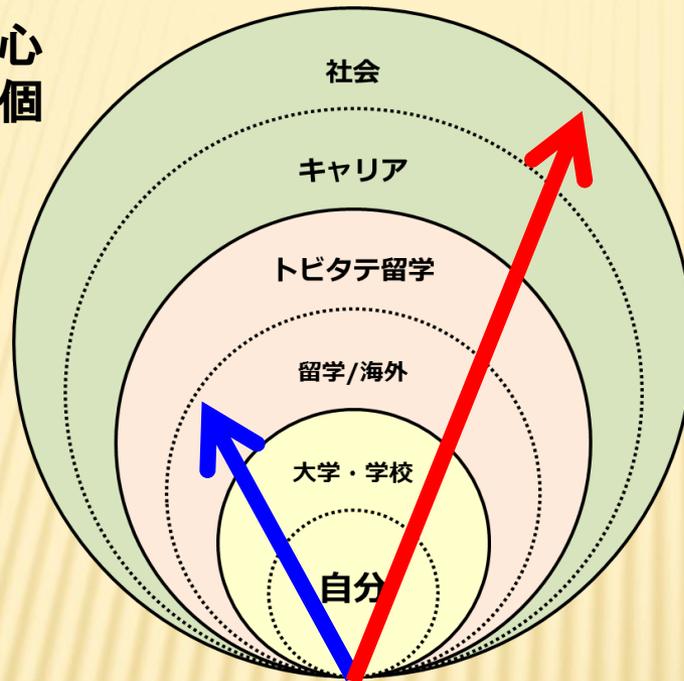
→ アカデミックな研究目的だけの留学はトビタテの場合はかなり厳しい。

こんな留学計画はダメだ！

- × 選択したコースと留学計画の内容が合っていない。
- × 自由記述書が“お粗末”
1ページしか書いていない。字が大きすぎ。
文字間隔が広すぎ。
→ それであなたの熱意が伝わりますか？
- × 具体性に欠ける
インターンをするなら、どんな分野で、どんな経験を積むのか？
世界で活躍したいなら、どんな分野で、どんなスキルを武器に？
大学で学ぶなら、どんな科目を、何のために学ぶのか？
- × 誰にでも書けるような一般的な内容である
抽象的な表現の羅列。耳触りの良いフレーズばかり。

社会を意識せよ！

(青線)
個人的な興味関心
を満たすための個
人的ストーリー



(赤線)
個人的な興味関心
を超えて、世の中
にどうかかわって
いきたいかという
社会的ストーリー

図：トビタテ事務局作成の説明資料より抜粋

**トビタテ！は「現場」主義（？）
インターンなどの実践活動重視の計画を！**

書類作成上の心得

- × オーディエンスを意識する。
 - + 何を求められているのか？
 - + 何を伝えればよいのか？
- × 留学計画の「ロジック」を明確にする。
 - + 目標・目的は明確か？
 - + それらを達成するために必要なこと・ものは何か？
 - + 必要なこと・ものを実現する（身に付ける）ための留学計画になっているか？

何が求められているのか？

- × 求める人材像『将来のグローバルリーダー』
(募集要項 p.2)
 - + 世界の人々との交流を通じた経験から学ぼうとする意欲
 - + 社会のために貢献したいという高い志
 - + 自らの志を具体化するための思考力と行動力
 - + 失敗から試行錯誤しながらも挑戦し続ける強い精神力
 - + 様々なことに好奇心、探究心を有し、未知の領域に対しても果敢に挑戦する姿勢
 - + 集団活動においてイニシアチブをとり、周囲を巻き込む能力



企業の採用活動における「企業が求める人材像」そのもの。

【参考】グローバル人材とは

- × 「世界に通用する人間であると同時に、日本の良さも自覚したうえで働くことのできる人材」

(独立行政法人国際協力機構：池上彰と考える「グローバル人材とは何か」より)

- × 「グローバル人材とは、世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立て培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を想像する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間」

(経済産業省 2011年6月22日『グローバル人材育成推進会議 中間まとめ』グローバル人材育成推進会議)

何を伝えればよいか？

- × 『自分は「求める人材像」に合致する可能性が高いですよ。』ということアピール。
 - + 現時点で「求める人材像」の各ポイントを身に付けている必要はなく、これからの留学で身に付けれることができればよい。
 - + 民間企業が出資→産業界に貢献せよ。
 - + 産業界で活躍するためには、座学だけでは不十分。実社会のことを理解することが必要不可欠。だから「実践活動」が必要。むしろ「実践活動」のみでも十分。
 - + 多様性人材においては、各分野においてグローバルに活動、活躍するための素地を養う。

留学計画の「ロジック」を明確にする。

- × 考えるための「枠組み（Framework）」



例えば、「ログフレーム」

“プロジェクト”を“留学”に
置き換えて考えてみると・・・

ログフレーム

× プロジェクトデザインマトリックス (PDM)

プロジェクトの要約	指標	入手手段	外部条件
上位目標 プロジェクト目標が達成されたことによりもたらされる、より上位、より長期の問題改善効果。プロジェクトのインパクト。	上位目標の達成目標値をしめす指標。	上位目標の指標の情報源。	プロジェクトによる改善効果を持続させるために必要な外部条件。 持続性に関するリスク。
プロジェクト目標 プロジェクト終了時までには達成されることが期待される、プロジェクトの直接目標。ターゲット・グループへの便益、受益者の行動変容、システムや組織の業績改善など。	プロジェクト目標の達成目標値をしめす指標。	プロジェクト目標の指標の情報源。	上位目標を達成するために必要な外部条件。 プロジェクト目標と上位目標をつなぐ外部条件。 上位目標の達成に関するリスク。
成果 プロジェクト目標を達成するために、プロジェクトの活動によってもたらされる中間目標。プロジェクトの戦略。	成果の達成目標値をしめす指標。	成果の指標の情報源。	プロジェクト目標を達成するために必要な外部条件。 成果とプロジェクト目標をつなぐ外部条件。 プロジェクト目標の達成に関するリスク。
活動 成果を達成するためにプロジェクトがおこなうおもな活動。	投入 活動をおこなうために必要な人材、機材、資金などといった資源。		成果を達成するために必要な外部条件。 活動と成果をつなぐ外部条件。 成果の達成、および効率性に関するリスク。 (「前提条件」は省略)

『私の留学プロジェクト』（例）

<問題意識>

いわゆる“開発途上国”と呼ばれる国々において、貧しい家庭で使われている粗悪な家庭用コンロが深刻な健康被害をもたらしている。なんとかしたい！

<実現したいこと・夢>

BOPビジネスを通じて、世界の貧困層の人々の生活を改善したい！

上位目標

≡留学のタイトル

<留学の目的・目標>

開発や貧困、BOPビジネスに関する理論、知識を得たうえで、実際の現場で日本の技術（安価な質の高いコンロ）を導入する上での課題を整理し、実現可能なビジネスモデルを構築する。

プロジェクト目標

<その成果はどうやって測るの？>

- ・単位認定
- ・語学力試験
- ・etc...

指標・入手手段

<目的・目標を実現するために必要なこと、身に付けるべきこと>

- ・開発、貧困、BOPビジネスに関する理論、知識を身に付ける。
- ・現地で活用できる日本の技術に関する知識を身に付ける。
- ・先進事例を研究し、課題等を整理する。

今の自分

なりたい自分

GA
P

成果

<その活動にはいくら必要？>

- ・渡航費
- ・学費
- ・etc...

投入

<そのために何をしなければならないか>

- ・〇〇大学で開発学を受講する。
- ・××コンロを扱う□□会社に取材を行う。
- ・△△国でBPOビジネスを展開しているNGOでインターンを行う。

【学業（留学）】

- ・知識習得、理論・原理を学ぶ

【実践活動】

- ・実社会との接点、実学

活動

留学計画書の作成

- × 自分の留学プロジェクトを留学計画に落とし込む。（例）

留学計画書	自分の留学プロジェクト
2. 留学計画のタイトル	上位目標
2. 留学計画の目的と概要	プロジェクト目標、成果、活動
2. 申請コース選択の理由	※募集要項「5. 支援の対象」
2. 留学計画期間	活動
3. 諸外国の受入機関情報	活動
3. 学習の成果及びその測定方法	指標、入手手段
3. 期待できる学修・実践活動の成果の活用	プロジェクト目標、上位目標
4. 留学計画実現のための取組	※
5. 自由記述	※「求める人材像」アピール

求める人材像と留学計画書

✕ 求める人材像と留学計画書のリンクを考える。

求める人材像	留学計画書のどこを見るか（例）
世界の人々との交流を通じた経験から学ぼうとする意欲	自由記述「①留学によってどんな自分になりたいのか」 留学計画書3. 学修の成果
社会のために貢献したいという高い志	留学計画書3. 期待できる学修・実践活動の成果の活用
自らの志を具体化するための思考力と行動力	留学計画書2. 留学計画の目的と概要 留学計画書4. 留学計画の実現のための取組 留学計画書4. 留学準備スケジュール
失敗から試行錯誤しながらも挑戦し続ける強い精神力	自由記述「②困難を克服した経験」
様々なことに好奇心、探究心を有し、未知の領域に対しても果敢に挑戦する姿勢	留学計画書2. (2)留学計画の目的と概要 自由記述「④その他アピールできるポイント」
集団活動においてイニシアチブをとり、周囲を巻き込む能力	自由記述「③トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムに対して自身が貢献できると考えること。」

コース選択を間違えないこと！

- × 新興国コース、トップレベル大学等コースは 産業界で活躍することが前提。

→ 「日本企業にとってメリットがあるか、日本企業が儲かるか？」ということ。

- × 留学先が新興国の大学、トップレベルの大学だとしても、留学計画のメインの目的が「ビジネス」以外（芸術、政治、行政、教育、研究、メディア、観光、ファッション、日本文化、国際協力等）であれば、多様性人材コースで応募。

→ 「様々な分野で日本のプレゼンスを高められるか？」ということ。

もうひとつ、大切なこと。

＜ロジックだけでは不十分＞

- × 「**パッション**」
情熱、熱意が伝わるか？
- × 「**独自性**」
“自分らしさ”はあるか？
- × 「**チャレンジ精神**」 「**好奇心**」
できるかどうか、よりも
やりたいかどうか。

応募について

①オンライン申請：『留学計画書』

必要事項をすべて入力し、必要書類を添付したら「学校へ申請」をクリック！

<申請期限> 2019年2月11日（月）23:59 厳守！

→ 申請書類を確認し、随時差し戻しをします。再提出期限は、別途お知らせします。

②紙媒体：『家計基準判定書類』

<提出締切> 2019年2月8日（金）16:30 厳守！

留学支援共同利用センターに提出。

※郵送による提出も可。（ただし、個人情報書類のため持参を推奨）

③紙媒体：『学内申請書（教員による確認書）』

<提出締切> 2019年2月15日（金）16:30 厳守！

留学支援共同利用センターに提出。

※家計基準判定を先に知りたい場合は、②の書類を早めに提出してください。

最後に・・・

トビタテの留学計画をどう書けば
よいのかわからない場合・・・



- ・留学支援共同利用センターの「留学相談」を利用する。
- ・指導教員の先生に見てもらう。
- ・過去のトビタテ生に見てもらう。
- ・トビタテ生がやっている各種相談会に参加する。

問い合わせ先・書類提出先

【留学支援共同利用センター】

メール：ryugakushien@tufs.ac.jp

電話：042 - 330 - 5113

開室時間：平日 9:30 ~ 16:30 （昼休み：12:40 ~ 13:40を除く）

冬学期中も、通常通りの勤務です。

よりよい留学計画を作るには、第三者に読んでもらって、アドバイスをもらい、繰り返し推敲することが必要です。

→ 当センターの「留学相談」をご利用ください！

<http://www.tufs.ac.jp/institutions/facility/ryugakushien.html>